

III 本時の指導

1 本時の位置づけ ・本時は第2次の10時間目である。ステンシルの作業にも慣れてきてが、インクの塗り残し、生地に汚れないように確認しながら丁寧に作業を行う。自分の役割、作業量を把握し、時間いっぱい取り組めるようにする。

2. 本時の目標 ・作業量を把握し、Tシャツの出来栄えを判断して、時間いっぱい制作に取り組んで欲しい。

3. 本時の展開

時間配分

学習活動

11:15  
(5)

1 挨拶  
○当番の掛け声で挨拶をする

9:45  
(10)

2 学習内容の確認  
○前時までの活動を  
確認する  
○役割を確認する

9:55  
(50)

3 制作  
○ステンシルでTシャ  
ツに模様をつける

10:45  
(10)

○Tシャツにアイロン  
シートを張り付ける

10:55  
(50)

○メッセージカード  
を作る  
○ラッピング袋を装  
飾する

11:45  
(15)

4 片付け  
○使用した道具を所  
定の場所に戻す

12:00  
(10)

5 まとめ 振り  
返す。  
○次時の予定を確認  
する  
○当番の掛け声で挨拶  
をする。

支援上の留意点

・T2,T3はエプロンの着用を確認し、着席を促す。  
・T1は姿勢を整えるように促す。

|         |                                                      |                                           |                                                                                                                 |
|---------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A<br>さん | 活動内容<br><前半><br>50. 冠模様のス<br>テンシル<br><後半><br>アイロンシート | 目標<br>良い出来栄え<br>の判断をして、<br>仕上げること<br>ができる | 手立て<br>【コト】<br>丁寧に作業できるように、繰り返し確認する。<br>【モノ】<br>良い製作物を意識して進められるように、目指す完成例を手元に提示する<br>【ヒト】<br>適宜に完成例を確認する声がけを行う。 |
|---------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

・前時までのTシャツ作りの進捗状況を表で確認する。  
・本時の前半の活動が分かるように、T1はビッグカレンダーを掲示して説明する。  
・後半の作業が分かるように、ホワイトボードに顔写真カードと役割カードを掲示して説明する。

・活動時間が分かるように、T1はタイマーを提示する  
  
・後半の作業では、T1はアイロン作業の安全を最優先にAさんを中心に支援する  
・メッセージカード装飾①～③の作業の協働を意識できるように完成したら、次の担当へT2、T3が受け流す  
  
・道具の片付け方が分かるように、道具や材料の置き場所に名前カードを貼る。

|         |                                                           |                                    |                                                                                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B<br>さん | 活動内容<br><前半><br>HAPPYのステンシル<br><後半><br>【メッセージカード装飾②】装飾シール | 目標<br>時間いっばい、制作に<br>取り組むこと<br>ができる | 手立て<br>【コト】<br>時間いっばい作業ができるように、活動する量を傍に用意しておく。<br>【モノ】<br>活動量が分かるように、トークン表を手元に提示する<br>【ヒト】<br>作業をする手が止まり続けている時には声かけをおこなう。 |
|---------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

・T1は一人ひとりの活動の様子を共有できるように製作物を提示しながら頑張った成果を称賛する。  
・Tシャツの進捗状況が分かるように、進捗表に完成したTシャツのシールを貼る。（児童を指名して貼ってもらう）  
・活動の達成感を得られるように、ビッグカレンダーに花丸シールを貼る（児童を指名して貼ってもらう）  
・次時の活動が分かるようにT1はビッグカレンダーを提示しながら説明する。

【教材の留意点】  
①Tシャツについて  
・ステンシル面以外は、ビニールシートで被う  
・誰にプレゼントするTシャツなのかハンガーに顔写真のカードを貼る  
・児童の手元には本日ステンシルをする人の顔カードを配付する  
・それぞれの児童の近くのTシャツラックには、今日ステンシルを行うTシャツを掛けておく

ホワイトボード

Tシャツラック（A、Bさん用）

T1  
(後半)

Aさん(後半)

アイロン台

棚

流し台

出入口

T2

机

Aさん

机

作業台

Cさん

Tシャツラック（C、Dさん用）

Dさん

机

作業台

Bさん

T3  
(後半)

→ Tの主なかわり

|         |                                                              |                                               |                                                                                                                |
|---------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| C<br>さん | 活動内容<br><前半><br>無限大∞のステンシル<br><後半><br>【メッセージカード装飾①】<br>写真を貼る | 目標<br>今日、自分が<br>担当する<br>量をやり遂<br>げることが<br>できる | 手立て<br>【コト】<br>本日の作業量をTシャツ3枚と装飾シール3枚に絞る<br>【モノ】<br>自分の作業量の見通しがもてるように示して傍に用意しておく<br>【ヒト】<br>落ち着かない場合は、クールダウンを行う |
|---------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

・T1は一人ひとりの活動の様子を共有できるように製作物を提示しながら頑張った成果を称賛する。  
・Tシャツの進捗状況が分かるように、進捗表に完成したTシャツのシールを貼る。（児童を指名して貼ってもらう）  
・活動の達成感を得られるように、ビッグカレンダーに花丸シールを貼る（児童を指名して貼ってもらう）  
・次時の活動が分かるようにT1はビッグカレンダーを提示しながら説明する。

|         |                                                            |                                 |                                                                                                                 |
|---------|------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| D<br>さん | 活動内容<br><前半><br>FOREVERのステンシル<br><後半><br>【メッセージカード装飾③】宛名記入 | 目標<br>製作物を汚さ<br>ず仕上げるこ<br>とができる | 手立て<br>【コト】<br>丁寧に作業できるように、繰り返し確認する。<br>【モノ】<br>良い製作物を意識して進められるように、目指す完成例を手元に提示する<br>【ヒト】<br>適宜に完成例を確認する声がけを行う。 |
|---------|------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

活用と普及 【Utilization】

←<2ページ目と3ページ目(見開き)の作成例>  
  
紙面左、縦方向にタイムラインを示しました。紙面中央には、配置図を示しました。これをキービジュアルとして、時間と、空間を一元的に示し、同時進行する学習活動を表現しています。  
従来の学習指導案の様式では、個別の指導計画の内容が、授業の展開とは別ページに示されていたことを改善し、両者を同時に確認することができます。  
また、授業参観者は、教室の風景とこの紙面を、迅速に照らし合わせることができます。

□□■□ 活用と普及 【Utilization】

学習指導案は、作成者である授業者と、読者である参観者をつなぐ貴重な資料です。授業の構想の表現と、その読み取りを、授業参観時において、円滑に、効率的に実現していくことを目指すが、OP指導案です。作成例を参考に、ぜひ、活用と普及をおすすめください。印刷、配布も簡単。A3判で両面印刷をするだけで済みます。

小学部 5・6 年「生活単元学習」学習指導案

日 時 ○○年○月○日（○）；4 校時

場 所 つくし組教室

対 象 小学部 5・6 年（4 名）

指導者 (T1) ○○ ○○ (T2) ○○ ○○ (T3) ○○ ○○

I 単元名 「つくしTシャツをつくってわくわく運動会をもちあげよう」

II 単元の構想

1 単元の設定理由 【自分ができていることを精一杯取り組む活動に】

小学部つくし組は、5年生1名(女子1名)、6年生3名(男子3名)、計4名の児童で編制されている。高学年であるため、学部集会等の行事を担当することが多く、これまでの生活単元学習では、1年生を迎える会や学部集会の準備、次期の制作、会当日等の運営を行ってきた。制作活動では、やるべきことが分かって進んで取り組む姿、出来上がり喜びを教師と共有して取り組む姿が見られた。会当日には、司会や挨拶等の係を担当し、自分の役割に最後まで取り組み、自分たちの頑張りを「上手だね」「すごいね」などと認められて嬉しそうにする姿が見られた。

本単元「つくしTシャツをつくってわくわく運動会をもちあげよう」では、高学年として活躍の場が期待されるつくし組の児童が、学級目標の「レベルアップ」を目指して、様々な場面で一体感をもって取り組んでいけるように、Tシャツ作りに取り組む。制作したTシャツは、わくわく運動会などの行事で着用する。わくわく運動会では、小学部の職員も着用し、学部で一体感をもって取り組んでいきたい。Tシャツ作りでは、児童が経験してきてできることや得意なことを活動の土台とすることで、4人全員が自分の力を発揮して、活動に手応えを感じながら進んで最後まで取り組む姿につなげていきたい。また、それぞれの役割を果たして一つのものを作り上げるといった活動を設定することで、みんなで協力する喜び、友だちや教師、と一緒に活動する楽しさを感じられる単元にしていきたい。そして、「だれかのために作り、プレゼントをする」という活動を通して、「相手に喜んでもらえて嬉しい」「やって良かった」と感じる経験を積み重ねる機会にしたい。

2 単元の計画 【自分の役割を理解し、主体的に取り組める活動に】

\*日程計画及び各教科等との関連については（p4）を参照のこと。

3 単元の活動内容及び支援の方針 【完成イメージと工程が意識しやすい活動に】

自分の役割、制作の手順が分かり、最後まで進んで取り組めるように、児童が得意なことを活動の中心に設定して、役割を固定して繰り返し取り組んでいきたい。また、活動に手応えや満足感を感じて、自分の力を発揮しながら活動できるように、十分な活動量の準備、一人一人に合った道具や補助具の準備、活動しやすい場の設定をしていきたい。そして、Tシャツ作りに意欲的に取り組み、丁寧に作っているように、Tシャツをみんなで着用することやプレゼントすること

4 活動内容と単元の目標及び支援の方針 【授業づくりの視点：自分ができていることに自信をもつ】

1 Tシャツが完成することやプレゼントすることを楽しみにしながら自分の力を発揮して活動に取り組む。

2 自分の役割を果たしながら、友だちや教師と協力してTシャツを作り上げる。

5 評価の計画 (知・技) どうすればステンシルができるか分かる。

(1) 評価の観点 (思・利・表) 出来栄に気を付けてステンシルができる。(主体的な態度) Tシャツ24枚完成を目指して仲間や教師と励まし合ったり、確認したりしながら一緒に取り組む。

(2) 評価の構造 \* 「単元計画」は、「毎時の目標」の評価を総合する。  
\* 「毎時の計画」のうち、本時の計画は、個人の目標の評価を総合する。  
\* 『個人の目標』の評価は、活動の様子を記述し、これを〔知識・技能〕〔思考・判断・表現等〕〔主体的に学習に取り組む態度〕を観点とし分析的な記述を加える。

<4ページ目(裏表紙)の作成例>→

OP指導案の4ページ目がフリースペースとなったのは、OP指導案全体における記述内容の精選やレイアウトの工夫したことによります。

この例では、校内研究において、授業づくりの過程で学校独自に取り組んでいる「単元構想シート」(田淵・佐々木・東・阿部ほか、2020)の使用を示しています。ここでは、単元構想シートのデザインに合わせて横向きで掲載しています。

□□□■ 資料と広報 【references】

小山聖佳・上川達也・田淵健・中軽米璃輝ほか(2018)知的障害教育における学習指導案様式「ワンペーパー指導案」の提案. 教育実践研究論文集, 6, 151-156.  
田淵健・佐々木全・東信之・阿部大樹ほか(2020)育成を目指す資質・能力を踏まえた「各教科等を合わせた指導」の授業づくりの要領の開発 ―特別支援学校の小学部におけるアクション・リサーチから―. 教育実践研究 論文集, 7, 1-6.

【お問い合わせ窓口】

岩手大学大学院教育学研究科  
准教授 佐々木 全  
E-mail: [zensky@iwate-u.ac.jp](mailto:zensky@iwate-u.ac.jp)

特別支援教育  
の  
道具箱  
【toolbox】

学習指導案様式をアップデート

内容の精選、視認性向上、授業参観で一目瞭然！

知的障害教育発の学習指導案様式「ワンペーパー指導案」

#8  
知的障害教育発の学習指導案様式「ワンペーパー指導案」  
2024. 12. 1.

- 特別支援教育の道具箱【toolbox】とは、特別支援教育を支えるツールを紹介するものです。
- 本内容は、岩手大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)における教育実践研究(小山・上川・田淵・中軽米ほか、2018)による成果物です。この開発並びにリーフレットの作成に際しては、岩手大学大学院教育学研究科(令和6年度の特別支援教育力開発プログラム履修の皆様)と、岩手大学教育学部附属特別支援学校の協力を得ました。

■□□□ 課題と必要 【needs】

学習指導案は、授業検討のためのツールです。作成者である授業者は、授業の構想を検討し、表現するために用います。読者である参観者は、授業の構想を読み取るために用い、授業の展開と照らし合わせながら参観します。その後、学習指導案は、授業研究会において、両者が共同検討する上での資料となります。

さて、授業研究に力を入れている岩手大学教育学部附属特別支援学校では、従来、「A4版, 片面刷り, ホチキスにて右綴じ, 7～10 枚」という形態で、学習指導案を作成し、参観者に配布していました。参観者はこれを、ページをめくりながら読むことになりますから、記載内容を一覧することがしにくいようでした。具体的には、授業参観時には現場の状況と、学習指導案中にある配置図と個別の指導計画と、授業の展開計画を同時に確認する必要が生じます。参観者は、学習指導案を参照するために、いつもガサガソとページをめくる動作を余儀なくされます。

そこで、参照と共同検討がより円滑にできるようにと、ワンペーパー指導案(OP指導案)様式を考案しました。

□■□□ 構想と開発 【concept】

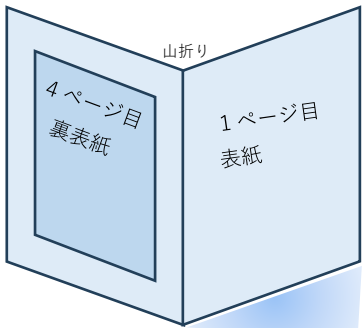
OP指導案の様式は、1枚の紙面に、必要事項が収まるように設計しました。必要事項とは、岩手大学教育学部附属特別支援学校で用いられていた従来の学習指導案における内容項目であり、「Ⅰ 単元名」「Ⅱ 授業づくりの視点」「Ⅲ 単元の目標」「Ⅳ 単元計画」「Ⅴ 本時の授業」「Ⅵ 個人の目標及び支援」「Ⅶ 評価」としました。

その上で、利便な形態を実現しました。具体的には、「A3版, 両面刷り, 二つ折りで左開, 1 枚」の形態です。これによって、物理的にも扱いやすく、配布するにあたっては、印刷及び丁合作業の労力が激減されました。

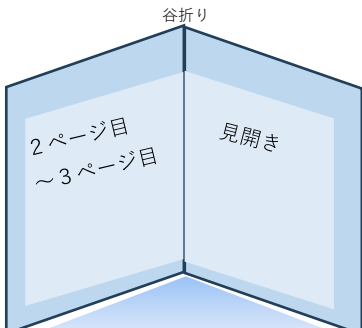
● 1ページ目(表紙)には、「Ⅰ 単元名」「Ⅱ 授業づくりの視点」「Ⅲ 単元の目標」「Ⅳ 単元計画」「Ⅶ 評価」を収めました。ここでは、作成者による記載内容の精選の必要が生じますが、これはむしろ記載内容の質を担保することになるでしょう。

● 2ページ目と3ページ目(見開き)には、「Ⅴ 本時の授業」「Ⅵ 個人の目標及び支援」を見開きで記載しました。なお、ここでは「場の設定」を図示し、これをメインのビジュアルとして一元的にレイアウトしました。

● 4ページ目(裏表紙)は、発展可能性の余地を持たせました。これは、記述内容の精選やレイアウトの工夫によって得られたものですが、各学校の創意工夫、作成者の創意工夫によって有効活用できるスペースとなりました。使用方法として、教材教具の写真や、単元構想シート(各教科等を合わせた指導において含まれている各教科等の内容を明示するもの;田淵・佐々木・東・阿部ほか、2020)などを掲載することなどもできそうです。これは、OP指導案による学校の授業づくりにかかわる特色や、授業者の個性を示すことにもなります。



★OP指導案の表紙と裏表紙の作成例は、本紙4ページ目参照。



★OP指導案の見開きページの作成例は、本紙2～3ページ目参照。